

知床半島斜里町側における海鳥の夏期間の海上分布 1997・1998年

福田佳弘

099-4355斜里町ウトロ東429, 知床海鳥研究会

The marine distribution during summer of the sea birds in Shiretoko Peninsula Shari side, 1997・1998

FUKUDA Yoshihiro

Shiretoko Sea birds Research Club, 429 Utoro-higashi, Shari 099-4335, Japan murrelet@d1.dion.ne.jp

はじめに

知床半島斜里側では、これまでの調査の結果、オオセグロカモメ・ウミネコ・ウミウ・ケイマフリの4種類の海鳥が繁殖している事がわかっており、1997年と1998年の繁殖状況についてすでに報告した(福田2001)。これら繁殖種の中で、ケイマフリは環境省レッドリストで絶滅危惧種(絶滅危惧II類)に記載されている稀少種である。しかし、

詳しい生息数の実態や具体的な保護の方策が立てられていないのが実状である。また、この地域では繁殖が確認されていないが、周辺地域や遠隔地で繁殖し飛来していると考えられる種も海上では多く観察される。今回の調査では、海鳥の夏期間の海上分布を明らかにするとともに、ケイマフリなどの絶滅の危機に瀕した海鳥の現状と保護について考察した。

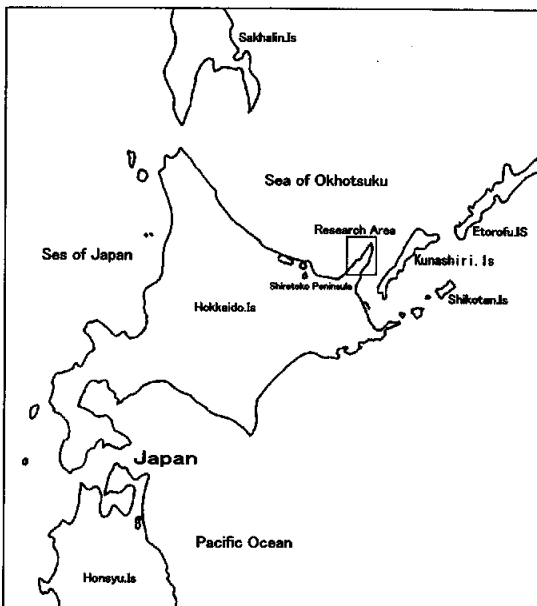


図1. 調査地位置図。

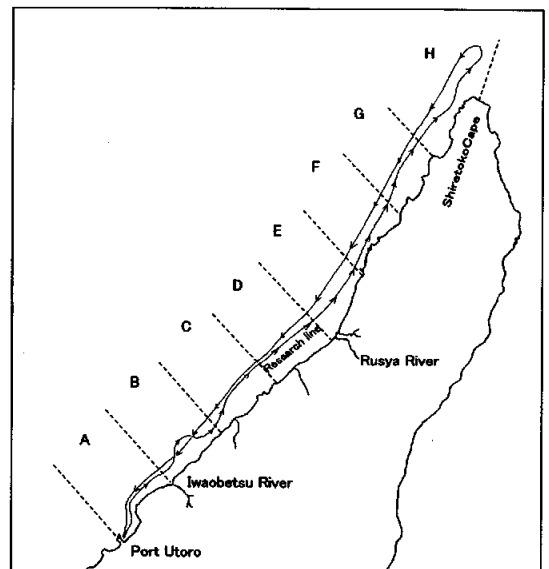


図2. 海上センサスの航路図と区域分け。

表 1. 1997年海上センサス調査結果.

Year:1997

Species \ Area	2-Jun	8-Jun	11-Jun	22-Jun	6-Jul	8-Jul	11-Jul	28-Jul	9-Aug	28-Aug
	6/2	6/8	6/11	6/22	7/6	7/8	7/11	7/28	8/9	8/28
オオハムsp <i>Gavia sp</i>	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0
フルマカモメ <i>Fulmarus glacialis</i>	0	11	2	300	3	169	9	1	0	0
ウミウ <i>Phalacrocorax filamentosus</i>	51	32	47	36	23	22	17	58	48	72
ヒメウ <i>Phalacrocorax pelagicus</i>	7	2	1	3	1	0	0	0	8	0
アカエリヒレアシシギ <i>Phalaropus lobatus</i>	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0
ミツユビカモメ <i>Larus tridactylus</i>	0	0	0	19	22	7	1	20	0	0
ケイマフリ <i>Cephus carbo</i>	42	39	104	90	53	74	99	65	5	14
マダラウミスズメ <i>Brachyramphus marmoratus</i>	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ウミスズメ <i>Cerorhinca monocerata</i>	24	1	15	102	6	7	19	621	137	24
ウミツルギ <i>Synthliboramphus antiquus</i>	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

オオハムsp *Gavia sp*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2 2-Jun					2				2
6/8 8-Jun									0
6/11 11-Jun									0
6/22 22-Jun							3		3
7/6 6-Jul									0
7/8 8-Jul									0
7/11 11-Jul									0
7/28 28-Jul									0
8/9 9-Aug									0
8/28 28-Aug									0

フルマカモメ *Fulmarus glacialis*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2 2-Jun									0
6/8 8-Jun				5	4	2			11
6/11 11-Jun			1				1		2
6/22 22-Jun								300	300
7/6 6-Jul							2	1	3
7/8 8-Jul					135	20	1	13	169
7/11 11-Jul							7	2	9
7/28 28-Jul							1		1
8/9 9-Aug									0
8/28 28-Aug									0

ウミウ *Phalacrocorax filamentosus*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2 2-Jun	11	11	5	5			13	6	51
6/8 8-Jun	10	8	10		2	2			32
6/11 11-Jun	18	11	5			3	1	9	47
6/22 22-Jun	19	8	3		1	3		2	36
7/6 6-Jul	12	10	1						23
7/8 8-Jul	21		1						22
7/11 11-Jul	8	3	2			1		3	17
7/28 28-Jul	24	34							58
8/9 9-Aug	41	5		1				1	48
8/28 28-Aug	26	27				19			72

ヒメウ *Phalacrocorax pelagicus*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2 2-Jun			5				2		7
6/8 8-Jun			2						2
6/11 11-Jun							1		1
6/22 22-Jun			1					2	3
7/6 6-Jul		1							1
7/8 8-Jul									0
7/11 11-Jul									0
7/28 28-Jul									0
8/9 9-Aug			1	7					8
8/28 28-Aug									0

アカエリヒレアシシギ *Phalaropus lobatus*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2	2-Jun								0
6/8	8-Jun								0
6/11	11-Jun				20				20
6/22	22-Jun								0
7/6	6-Jul								0
7/8	8-Jul								0
7/11	11-Jul								0
7/28	28-Jul								0
8/9	9-Aug								0
8/28	28-Aug								0

ミンユビカモメ *Larus tridactylus*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2	2-Jun								0
6/8	8-Jun								0
6/11	11-Jun								0
6/22	22-Jun			3	3	4		3	19
7/6	6-Jul					22			22
7/8	8-Jul				5	1		1	7
7/11	11-Jul							1	1
7/28	28-Jul		6	11			2	1	20
8/9	9-Aug								0
8/28	28-Aug								0

ケイマフリ *Cepphus carbo*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2	2-Jun	12	30						42
6/8	8-Jun	20	13	2	4				39
6/11	11-Jun	39	65						104
6/22	22-Jun	56	34						90
7/6	6-Jul	32	19		2				53
7/8	8-Jul	39	35						74
7/11	11-Jul	68	31						99
7/28	28-Jul	22	43						65
8/9	9-Aug	2	3						5
8/28	28-Aug					4	3	7	14

マダラウミスズメ *Brachyramphus marmoratus perdix*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2	2-Jun								0
6/8	8-Jun								0
6/11	11-Jun								0
6/22	22-Jun								0
7/6	6-Jul								0
7/8	8-Jul								0
7/11	11-Jul								0
7/28	28-Jul								0
8/9	9-Aug				1				1
8/28	28-Aug								0

ウトウ *Cerorhinca monocerata*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/2	2-Jun				20			4	24
6/8	8-Jun			1					1
6/11	11-Jun				4	2		9	15
6/22	22-Jun			2	6	52	17	24	102
7/6	6-Jul					6			6
7/8	8-Jul					7			7
7/11	11-Jul					4		11	19
7/28	28-Jul		10	21	9	52	224	6	299
8/9	9-Aug			1		30		17	137
8/28	28-Aug	1		14	9				24

表2. 1998年海上センサス調査結果.

Year:1998

Species\Area	8-Jun 6/8	18-Jun 6/18	30-Jun 6/30	7-Jul 7/7	18-Jul 7/18	29-Jul 7/29	7-Aug 8/7	5-Sep 9/5	30-Sep 9/30
オオハムsp <i>Gavia sp</i>	1	0	0	0	0	0	0	0	0
フルマカモメ <i>Fulmarus glacialis</i>	0	0	396	0	9	18	1	0	0
ハシボソミズナギ <i>Puffinus tenuirostris</i>	0	0	0	1	0	4	3	0	1
ハイロウミツバメ <i>Oceanodroma furcata</i>	0	0	0	18	0	0	0	0	0
ウミウ <i>Phalacrocorax filamentous</i>	40	29	47	115	141	190	63	0	7
ヒメウ <i>Phalacrocorax pelagicus</i>	0	1	0	0	1	17	2	0	1
アカエリヒレアシシギ <i>Phalaropus lobatus</i>	0	0	0	0	0	11	0	13	0
ミツユビカモメ <i>Larus tridactylus</i>	1	0	1	1	34	2	8	0	3
ケイマフリ <i>Cepphus carbo</i>	74	53	39	58	153	81	22	0	0
マダラウミスズメ <i>Trachyrhamphus marmoratus</i>	0	0	1	0	0	2	0	0	0
ウトウ <i>Cerorhinca monocerata</i>	4	6	12	3	1	22	96	13	20

オオハム *Gavia sp*

Date\Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun	1								1
6/13 13-Jun									0
6/30 30-Jun									0
7/7 7-Jul									0
7/18 18-Jul									0
7/29 29-Jul									0
8/7 7-Aug									0
9/5 5-Sep									0
9/30 30-Sep									0

フルマカモメ *Fulmarus glacialis*

Date\Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun									0
6/13 13-Jun									0
6/30 30-Jun					1			395	396
7/7 7-Jul									0
7/18 18-Jul								9	9
7/29 29-Jul				3	2		9	4	18
8/7 7-Aug		1							1
9/5 5-Sep									0
9/30 30-Sep									0

ハシボソミズナギドリ *Puffinus tenuirostris*

Date\Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun									
6/13 13-Jun									
6/30 30-Jun									
7/7 7-Jul									
7/18 18-Jul									
7/29 29-Jul				1	2		1		4
8/7 7-Aug	1	1						1	3
9/5 5-Sep									
9/30 30-Sep							1		1

ハイロウミツバメ *Oceanodroma furcata*

Date\Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun									0
6/13 13-Jun									0
6/30 30-Jun									0
7/7 7-Jul								18	18
7/18 18-Jul									0
7/29 29-Jul									0
8/7 7-Aug									0
9/5 5-Sep									0
9/30 30-Sep									0

ウミウ *Phalacrocorax filamentosus*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun	36	4							40
6/13 13-Jun	13	10	1	1		1		3	29
6/30 30-Jun	39	4				3		1	47
7/7 7-Jul	30	75	10						115
7/18 18-Jul	30	79	12	11		9			141
7/29 29-Jul	8	8	4	107		1	1	1	130
8/7 7-Aug	4	22		37					63
9/5 5-Sep									0
9/30 30-Sep	3	4							7

ヒメウ *Phalacrocorax pelagicus*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun									0
6/13 13-Jun						1			1
6/30 30-Jun									0
7/7 7-Jul									0
7/18 18-Jul		1							1
7/29 29-Jul	1						16		17
8/7 7-Aug		2							2
9/5 5-Sep									0
9/30 30-Sep		1							1

アカエリヒレアシ *Phalaropus lobatus*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun									0
6/13 13-Jun									0
6/30 30-Jun									0
7/7 7-Jul									0
7/18 18-Jul									0
7/29 29-Jul									0
8/7 7-Aug									0
9/5 5-Sep				3	1			7	11
9/30 30-Sep									0

ミツユビカモメ *Larus tridactylus*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun								1	1
6/13 13-Jun									0
6/30 30-Jun								1	1
7/7 7-Jul				1					1
7/18 18-Jul	1		3	4	12	14			34
7/29 29-Jul							1	1	2
8/7 7-Aug								8	8
9/5 5-Sep									0
9/30 30-Sep						2		1	3

ケイマフリ *Cephus carbo*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun	41	33							74
6/13 13-Jun	17	36							53
6/30 30-Jun	18	21							39
7/7 7-Jul	36	22							58
7/18 18-Jul	90	63							153
7/29 29-Jul	41	39	1						81
8/7 7-Aug	1	21							22
9/5 5-Sep									0
9/30 30-Sep									0

マダラウミスズメ *Brachyramphus marmoratus perdix*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun									0
6/13 13-Jun									0
6/30 30-Jun					1				1
7/7 7-Jul									0
7/18 18-Jul									0
7/29 29-Jul								2	2
8/7 7-Aug									0
9/5 5-Sep									0
9/30 30-Sep									0

ウトウ *Cerorhinca monocerata*

Date \ Area	A	B	C	D	E	F	G	H	Total
6/8 8-Jun				1	3				4
6/13 13-Jun			1	1		1	2	1	6
6/30 30-Jun						4	7	1	12
7/7 7-Jul			2			1			3
7/18 18-Jul						1			1
7/29 29-Jul		1			4			17	22
8/7 7-Aug		1						95	96
9/5 5-Sep			1				8	4	13
9/30 30-Sep								20	20

調査方法

調査は、船上からの観察によったが、調査手段である知床観光汽船がウトロ港から知床岬間を就航する時期の6月上旬から9月下旬を調査期間とした。調査は1997年には6月と7月に3回、8月と9月は時化の日が続いたため8月に1回9月に2回実施した。1998年の調査は6月と7月は各月4回、8月は時化の日が続いたため2回、9月は時化のため調査できなかった。

調査方法は、平均約13.8ノットで航行する観光船オーロラ号（知床観光汽船所属）に乗船し右舷の甲板を定位置にして、往路ウトロ港から知床岬までは海岸側を、復路の知床岬からウトロ港は沖側を調査した。カウント範囲は船から約200mの海上と上空とした。ケイマフリについては正確な生息数をだすため、営巣崖に上陸している個体もカウントにした。調査には10×42の双眼鏡と数取り機（カウンター）を用いた。調査対象種は、アビ目・カイツブリ目・ミズナギドリ目・ペリカン目・チドリ目（ヒレアシシギ科・カモメ科ウミスズメ科）としカモ類は除いた。また、オオセグロカモメとウミネコは船上の観光客が与えるスナック菓子などの餌を目あてに船に群がり、多くの個体が船の後を追いかけることが普通であった。このため、正確なカウントを行うことが困難であり、この2種を調査対象種から除外した。なお、調査範囲のウトロ・知床岬間を5 km間隔（A～H）に区域割りした。

調査結果

1997年海上センサス調査結果を表1に、1998年海上センサス調査結果を表2に示した。

オオハムsp

オオハムとシロエリオオハムは、野外での識別は困難なため「sp.」とした。両種とも知床周辺では繁殖はせず、ロシア北部や北極圏で繁殖する（日本鳥学会 2000）。1997年は6月2日に2羽・6月22日に3羽1998年に6月8日に1羽を観察した。越冬個体や渡り途中の個体、繁殖に参加しない個体が記録されたものと考えられる。

フルマカモメ

知床半島周辺では繁殖せず、主に北太平洋のベーリング海周辺から南千島などで繁殖する（日本鳥学会 2000）。1997年6月22日にH域で300羽・1998年には6月30日にH域で396羽をカウントした。6月上旬から7月下旬まで観察されたが、偶発的に大きな群れと遭遇したと思われ、条件や傾向は解らなかった。そのときの海流や餌資源などが知床周辺へ出現する要因となっているように考えられる。

ハシボソミズナギドリ

1998年7月7日1羽と7月18日4羽そして8月7日3羽と9月30日1羽観察されたただだったが、年によっては、大群で飛来することもある。繁殖地は南半球のオーストラリア南部で太平洋を大きく回遊する（田中・梶原 1979）。

ハイイロウミツバメ

千島列島北部とアリューシャン列島で繁殖する（日本鳥学会 2000）。1998年7月7日に18羽が観察されたただだったが、この年は、調査日以外でもしばしば観察された。

ウミウ

この周辺では、プユニ岬からエエイシレド岬と獅子岩から知床岬に集団繁殖地があり、特にプユニ岬からエエイシレド岬には大きな集団繁殖地があり、海上分布調査でもこの地域で多く観察された。7月後半から個体数が増加しているが、これは巣立った幼鳥が加わったためである。また、繁殖が終了し分散がはじまる9月からは著しく数が減少する。

ヒメウ

知床半島では、過去に繁殖の記録はない(中川1988)。しかし、少数ではあるが夏期に観察された。観察した個体は全て非繁殖羽であった。

アカエリヒレアシシギ

6月と9月に観察され、渡りの途中で通過したものが海上に浮遊していたと考えられる。

ミツユビカモメ

カムチャツカ半島・アリューシャン列島で繁殖する(日本鳥学会2000)。知床半島周辺で観察した個体のほとんどが非繁殖羽だったことにより繁殖に参加しない個体が飛来したものと考えられる。

ケイマフリ

今回の調査の結果、1997年は6月11日に104羽・1998年は7月18日に154羽の最高羽数をカウントした。これに近い個体数がこの地域で繁殖しているものと考えられる。生息域は繁殖地のあるA区とB区に集中する傾向が見られた。ケイマフリは雛への給餌がはじまるのが7月上旬からで育雛期間が約43日(南ら1995)であることから、8月中旬に雛が巣立つことが予想される。今調査では、海上で最も数が多く記録されたのが育雛期前半で、育雛後期から巣立ち期には数が著しく減少し、9月には完全に姿を消した。本種は知床沿岸で冬期にも観察されるが、夏期においては繁殖期だけに飛来し、繁殖終了後には別の場所へ移動すると考えられる。

マダラウミスズメ

同時期に行った他の調査の結果では、ルシヤ湾沿岸でしばしば観察されていたが(福田2001)、海

上センサスの航路ではルシヤ湾の沖側を通過するため観察例は少なかったと考えられる。1997年8月9日に1羽・1998年7月29日に2羽に観察された。日本での繁殖の記録は、1961年6月15日小清水町の藻琴山麓で抱卵中の個体が捕獲されたという記録のみである(関根1987)。まだこの周辺で繁殖している可能性があり、現在も調査中である。

ウトウ

繁殖期が終了する7月後半から数多くの個体がカウントされた。区域ではF区とH区の沖合いで数多く観察された。調査日以外には、帰巢するための嘴に魚をくわえる個体がしばしば観察されたことから、当地域の周辺で繁殖している可能性がある。過去の報告では黒田(1965)のなかに、「吉田三郎氏によると、観音岩とベキンノ岩の間の獅子岩付近に、少数が繁殖するらしい」と記述があるが、確実な繁殖の記録はない。また、周辺地域では千島列島の国後島に近い弁天島、色丹島に近いグリガ島とリシイ島、デヴャトウィ・ヴァル島そしてリシイ島で繁殖する(ネチャエフ1969)。

ウミスズメ

1997年6月11日に知床半島近くの岩礁地帯(H区)から船に驚き飛び立つ個体が1羽観察されただけであった。

まとめ

知床半島周辺で、海鳥の中でもっとも貴重で希少な種類はマダラウミスズメとケイマフリであろう。マダラウミスズメは、過去には小清水海岸や知床半島周辺の海岸では頻りに観察されていた(関根1987)。しかし、現在では個体を確認することさえ難しいほど減少している。この状況では、調査や保護の対策をたてる事は非常に難しくなっている。

ケイマフリは最高カウント数153羽を数え、日本国内では天売島に次ぐ貴重な繁殖地であると考えられる。ウトロ市街地に隣接するプユニ岬とエエイシレド岬の間で繁殖し、周辺海域は索餌や休息などに重要な海域となっている。しかし、この海域は観光地としての利用が最も多く、観光船やプレジャーボートの航行が最も多い地域である。繁殖地と生息海域が最も船の航行の多い地域と重

なっているため、観光船やプレジャーボートに攪乱されるケイマフリの群れが頻繁に観察された。人為的影響がケイマフリの繁殖活動に影響を与えている事は明白であり、ケイマフリの生息域での航行の制限などの早急な対策が必要であると感じた。

謝辞

今回の調査では各方面の方々にお世話になった、情報の提供や調査のお手伝いをして下さった知床自然センターの松田光輝氏、船外機付ボートを貸していただいた米沢達三氏、資料の提供をして下さった知床博物館の中川元氏、そして知床岬を往復する観光船にご好意で乗船させて頂きました株式会社知床観光汽船の方々に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

引用文献

- 福田佳弘. 2001. 知床半島斜里町側における海鳥の繁殖分布 1997・1998年. 知床博物館研究報告22: 69-74.
- 黒田長久. 1965. 北海道の鳥類調査. 山科鳥類研究所報4: 224-268.
- 南浩史・青塚松寿・寺沢孝毅・丸山直樹・小城春雄. 1995. 天売島におけるケイマフリの繁殖生態. 山科鳥類研究所報27: 30-40.
- 中川元. 1988. 鳥類. 大泰司紀之・中川元(編), 知床の動物. pp.59-121. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- ネチャエフ V. A. 1969 (藤巻裕造(訳). 1979). 南千島の鳥類. 200pp. 日本鳥学会, 東京.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録改訂第6版. 345pp. 日本鳥学会, 東京.
- 関根正行. 1987. 北海道小清水町に於けるマダラウミスズメの生態と繁殖について. 小清水町教育委員会(編), 小清水の野鳥. pp.135-140. 小清水町, 小清水.
- 田中裕・梶原武. 1979. 夏期における北太平洋およびオホーツク海の海鳥, フルマカモメの分布について. 山科鳥類研究所報11: 79-86.